

令和4年 第6回清里町教育委員会会議

1. 開催年月日 令和4年10月6日(木)
2. 開催場所 清里町生涯学習総合センター会議室
3. 開会・休憩・閉会時刻 開会宣言13時26分 閉会宣言13時52分

4. 出席者は次のとおりです。

職名	氏名	職名	氏名
教育長	岸本幸雄	職務代理者	福田一成
委員	高見真由美	委員	居城博明
委員	宇都宮弥生		

5. 欠席者は次のとおりです。無し

6. 遅刻者は次のとおりです。無し

7. 早退者は次のとおりです。無し

8. 出席した事務局職員は次のとおりです。

職名	氏名	職名	氏名
生涯学習課参与	新輪誠一	生涯学習課主幹	藤森宏樹
学校教育グループ 総括主査	原田了	学校教育グループ 主査	熊谷駿佑
教育支援専門員	渋谷高広		

9. 会議に付した事件は次のとおりです。

議案番号	件名
報告第1号	令和4年度「全国学力・学習状況調査」調査結果について

10. 議事の経過
別紙

第6回清里町教育委員会 議事録

令和4年10月6日(木)

議長	<p>ただいまから、令和4年第6回清里町教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>ただいまの出席委員は4名です。</p> <p>清里町教育委員会会議規則第6条により本会議が成立していることを認めます。</p> <p>本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。</p>
議長	<p>日程第1 議事録署名委員の指名を行います。</p> <p>議事録署名委員は、会議規則第24条第2項の規定により、福田委員と高見委員を指名します。</p>
議長	<p>日程第2 報告第1号 令和4年度「全国学力・学習状況調査」調査結果についてを議題とします。</p> <p>提案理由の説明を求めます。</p>
説明	<p>(生涯学習課主幹)</p> <p>ただいま上程されました報告第1号「令和4年度全国学力・学習状況調査」調査結果についてご報告いたします。</p> <p>説明に入ります前に、資料の訂正があります。</p> <p>議案の6ページ 質問番号52番 『国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う』との質問項目の中学3年生の清里町の数値10.0右から二つ目の項目であります。こちらは10.0が誤りでありまして正しくは、87.7ポイントとなり、その隣の右端の数値-78.7が-1.8となります。</p> <p>訂正をお願いします。</p> <p>それでは説明をさせていただきます。</p> <p>2ページ「令和4年度全国学力・学習状況調査結果概要」をご覧ください。</p> <p>1 調査の目的につきましては、記載のとおり、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図ること。また、児童生徒への指導の充実や学習状況の改善に役立てること、さらに、その取り組みを通じて、教育に関する継続的な改善サイクルを確立することです。</p> <p>2 調査の概要ですが、実施期日は4月19日(火)に全国一斉にすべての小中学校で行われております。</p> <p>参加状況は、町内小学校6年生が27名、清里中学校3年生が33名</p>

です。

調査事項は、教科に関する事項として、小学生は国語と算数、理科、中学生は国語と数学、理科です。

質問紙調査につきましては、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査となっております。

3 それでは調査結果の概要について説明いたします。

小学校6年生については、全国平均と比較すると国語、理科はほぼ同じ状況となっておりますが、算数はやや低い状況となっております。また、全道平均と比較すると国語、算数、理科ともにほぼ同じとなっております。

中学校3年生は、国語、理科については全道全国平均とほぼ同じ、数学は全道全国平均より低い状況となっております。

次のページをご覧ください。このグラフは教科・領域別の傾向を示しており、全国平均を100として点線で、清里町の結果を実線で示しています。

小学校6年生については、13領域中、6領域で全国平均を上回っています。しかし、国語の（書く）と（読む）、算数の（数と計算）と（変化と関係）、理科の（エネルギー）と（粒子）と（地球）が全国平均よりも低くなっておりました。

中学校3年生は国語では6項目中3項目が全国平均を上回っていますが、数学の「数と式」、「図形」、「データの活用」で全国平均を大きく下回っています。

次のページをご覧ください。このグラフは問題の形式別の傾向を示しております。

小学校6年生は国語、算数、理科の記述式が低くなっております。

中学校3年生については、数学の記述式が全国平均を大きく下回っています。

次のページをご覧ください。ここでは質問紙調査の結果を掲載しております。

小学校6年生は、4番目の「携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守っている」20番目の「家で自分から計画を立てて勉強をしている」29番目の「今住んでいる地域の行事に参加している」42番目の「授業は、自分あった教え方、教材、学習時間になっていた」と回答した児童の割合が全国平均よりも高くなっています。

また、32番目から37番目の「ICTを活用した学習状況」は総じて全国平均よりも高いことが伺えます。

逆に、24番目の「家に101冊以上の本がある」26番「読書が好きだ」53番目の「算数・数学の勉強は好きだ」という設問に全国と比較して課題が現れています。

中学校3年生については、20番目の「家で自分から計画を立てて勉強をしている」21番目「授業以外に、平日1日1時間以上勉強してい

	<p>る」22番目「休みの日に1時間以上勉強している」38番目「授業では、考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が全国平均よりも高くなっています。</p> <p>逆に、17番目の「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」27番目「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」という設問に全国と比較して課題が現れています。</p> <p>また、学習に対する興味関心については、40番の「授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」53番「算数・数学の勉強は好きだ」の割合が全国よりも低くなっております。</p> <p>その他については、表をご覧くださいと思います。</p> <p>これらの結果は、対象となった学年のある程度の傾向を表すものです。今後は、この結果を各学校で分析し、指導に役立てていくことになります。また、広報12月号で町民の皆様にも公表いたします。</p> <p>以上で報告第1号令和4年度「全国学力・学習状況調査」調査結果についての説明を終わります。</p>
議長	これから質疑を行います。
宇都宮委員	示されている小学6年時と現在の中学3年時のメンバーは同じか
岸本教育長	転校などで多少の人員の変更はあるが基本的には同じ
福田委員	児童・生徒へはどういった形で説明しているのか
岸本教育長	全体的な数字は直接の説明はしていない 個々人にはそれぞれの個人票が渡っている
居城委員	提案された資料は非常にわかりやすい 結果の数字よりも、質問に対する回答の状況が重要 ICT関連や苦手教科等の傾向把握等に活用していただきたい
岸本教育長	5ページ2-7や2-8はこれまで数字が低い傾向があったが、学校側の対応もあり、今回の結果では改善されてきたと感じている ICT関連の質問が高めに出てきているのは新型コロナウイルス感染症の流行の影響で活用が増えたと考えられる 各学校でも苦手傾向等把握し改善に向け対応していきたい
議長	報告第1号 令和4年度「全国学力・学習状況調査」調査結果について を採決します。 本件について、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。
各委員	(異議なし)
議長	異議なしと認めます。 したがって、報告第1号 令和4年度「全国学力・学習状況調査」調査結果については、原案どおり決定されました。

議長	本委員会に付された案件は、以上で終了いたしました。 これで、本日の委員会を閉会いたします。